

# みんなの願い集めてど〜んと159項目

## 日本共産党飯能市議団が2012年度予算要求書提出

# 新飯能

発行  
日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江  
090-7265-1601  
山田とし子  
090-4389-4439  
新井たくみ  
090-4010-5650  
滝沢おさむ  
090-7000-4481

<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所456)  
Mail jcp-sigi@  
pluto.plala.or.jp



14日、日本共産党飯能市議団は、重点要求として21項目、分野別に159項目にまとめた新年度予算要求書を沢辺市長あて提出しました。

### 暮らし・福祉優先に切りかえる予算に

提出するにあたって金子としえ市議は、「何よりも東日本大震災と福島原発事故の最大の教訓を飯能市の新年度からの市政運営に生かすことに重点を置いた。住民の生命・財産を守る、災害に強い

福祉の街づくりを進めるために、不要不急の道路建設などのムダ使いをけずり『暮らし・福祉優先』に切り替える予算編成にと要望しました。

さらに金子としえ市議は、「小さい子どもをもつお母さん方は放射能汚染をととても心配している。徹底的に調査に

もとづいて汚染地区・汚染箇所が発見されしだい除染することや給食食材の放射能検査を実施してほしい」と求めました。副市長は、「発注している2台の測定

器がくればきめ細かな調査をしていきたい」と答えました。

### 総合的な交通政策の立案求める

新井たくみ市議は、「国際興業バスの撤退表明で地域の不安が広がっており、総合的な交通政策の立案が求められる」として当面の市の対応を聞きました。副市長は、「当面は補助金を増額したいと思う。国際興業の路線を引き継いでくれるところが見つければと考

えている」と答えました

### 住民の声を反映させて見直しを

山田利子市議は、「久下六道線は、今の市の計画は住民に受け入れられないので住民の声をしっかり聞いて見直すべきだ」と強く要望しました。

### 公民館の有料化はやめよ

滝沢修市議は、「公民館を地区行政センターに移行し、行政センターと抱き合わせで、原則無料

の公民館使用料を有料にするのは活発な活動を遠ざけてしまう」と有料化に異議を述べました。

### 【重点要求の主な項目】

①放射能汚染の被害を最小限に②太陽光など自然エネルギー普及の取り組み

### アンケート調査と出された意見の公表を

各公民館で、(仮称)地区行政センターの説明会が行なわれています。公民館ごとに出された意見を掲載します。

16日に行われた富士見

公民館での意見は、富士見自治会の方から「富士見公民館は市庁舎が近いということでも何変化はない、逆にサービスはないのかと思ってしまう」また、中央体育協会の役員さんは「公民館を利用する各サークル、グループなどは、財政的には大変、赤字覚悟でやっているのが現状。文化などを大事にするならそういうところを支援すること。市民の意向で動くのが行

み③分かりやすい防災ガイドマップの作成④子ども医療費無料化を中学3年生まで拡大を⑤子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン助成の継続⑥土地区画整理事業は住民要望にそってすすめることなどです。

### 波 紋

政ではないか。アンケートを実施することと説明会で出された意見集約はいつ公表するのか、集約会合など考えているか」と市の考えを聞きました。市は「アンケートは考えていない。公民館便りなどに説明会の意見を載せて周知したい」と答えました。参加した女性は「利用している人としていない人の公平性を強調し『受益者負担』というけれどおかしいです。もう決まったみたいない言方をしてる。市民の意見を聞いただけ、市のやり方はみんなさうですね。市民不在で感じです」と後で語っていました。

昔前首相が四国霊場八十八か所の遍路の旅を再開したことについて、「その前に奥の細道を歩いて被災した庶民の生の声を聞いて欲しい」「遍路は政界を引退した後で、ゆっくりすればいい」という投書が新聞に載っていました▼二日間の救援ボランティアでしたが、仙台市の荒浜小学校区近くの畑の土起こしと土ふるいの作業に参加してきました。荒浜小学校区は約800世帯2700人の集落が土台だけ残して消えてしまったところで、今は無人の荒涼とした一帯が広がっています▼「戻って来た人も、夜はまっくらで、怖くて帰ってしまった」「若い者がもう戻らないと言っている」と少し耳の遠いご主人は話していました▼隣の畑では金沢から会社の慰安旅行で来た人たちがボランティアで土起こしと石拾いをしていました。そんな光景を見てみると災害時の首相の昔さんの、のんびり四国遍路をしていられる神経が信じられません。

# 落ち葉や通学路、

## 学校給食の放射能検査を実施して！

新日本婦人の会飯能支部(本多美枝支部長)は20日、来年度の予算要望書を沢辺市長あて提出し、各テーマごとに担当課をまわり詳しく懇談しました。



午前中は、環境部、水道部、建設部をまわり、午後は、市民生活部、教育委員会、総合政策部の職員にていねいに対応してもらいました。

環境部では、9月一般会計補正予算で組んだ2台の測定器を発注して、入り次第公共施設を中心に優先して、さらにきめ細かく測定していくこと。出前講座も要請があれば積極的に取り組んでいくこと。落ち葉の測定や職員の測定に同行させてほしいなど活発な意見が出されました。

水道部では、水道水中の放射性物質の検査結果の説明と県水を止められないのかと意見が出されました。

岩渕の小藤さんは、「10年以上県水を飲まされてきたが、住民にだまされてこの地域だけに県水を引いたということは絶対に許せない。しかも90%以上県水なのに飯能の水道水として給水していたわけだから、これを偽装と言わずして何という。今は65%になったがやっぱり飲めないと、元の飯能の水に戻してほしい」と訴えました。

午後の教育委員会では、子どもたちの給食の放射能調査を実施してほしい。親子で楽しめるファミリープールをつくってほしい。市民生活部では、商店街の街路灯が節電のために間引き点灯になっている

ので改善できないか。

## 市営住宅の増設求める

### 市営住宅審議会で山田市議



10月14日、市庁舎5階で市営住宅審議会が行われました。

飯能市は、富士見、浅間、前原、中山、岩淵、向原、新田、平松団地など8団地725戸、県営住宅2団地54戸(中山30戸、川寺24戸)を合わせると10団地779戸になります。今年度は79件の応募があり、現在、入居10件、斡旋16件、辞退された方が4件、検討中2件、震災により被

国際興業のバス撤退問題については、現在、年1300万円の補助金を出しているが、全路線を引き受けてもらえる後継者が決まるまで補助金の増額で対応したい。と懇談。

災害入居は7世帯22人ということです。

今回、国の「地域の自主及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律に関する法律」により「公営住宅法」の一部改正が出されました。

現在、入居資格に同居親族の要件がありますが、60歳以上の単身高齢者、精神障害者・知的障害者(手帳保持者)DV被害者も対象となっています。これらの要件を廃止するかどうか、また、入居収入基準の上限額の引き上げも含めて、H25年度末までに市が条例制定することとなっています。

市は「県や近隣市町村の状況を見て検討する」としています。

今後、検討すべき点は、

現在の入居資格要件を廃止することなく、公営住宅としての役割を持ち続けることです。

審議委員の山田利子市議は、飯能市は、市営住宅は建設しないといってきたが、入居希望者も多い状況なので、ぜひ、市営住宅を増設するよう強く求めました。

## 市政の問題点が明らかに

### 山田・滝沢市議が報告会

日本共産党飯能市議団は、各地で議会報告や懇談会を開催しています。8日には山田とし子市議が中央公民館で開催。

山田市議は飯能市の22年度決算を報告、市は「財政難」と言っているが、水道料金などを値上げしましたが、決算では繰越金16億円、基金は76億円もあり市の財政はけっして悪くはないと指摘。



今後、行革で水道料金滞納通知に15万円かかるため、通知を一回分減らして給水停止を狙うなど「本当に冷たい市政」と報告しました。

参加者からは、久下六道線についての疑問点や、「公民館を行政センターにして有料化は困る」「職員は人の配置も心配している」「通知を減らして水道をとめるなんて絶対に許せない」などのたくさんの意見が出されました。

また、16日に開催された滝沢市議の市政懇談会では、消防の広域化問題が話され、「西部広域消防本部(飯能、日高)と入間、狭山市、所沢の消防署がひとつになり、所沢が消防本部になる計画が進められている。市の説明会では消防力が強

宅は建設しないといってきたが、入居希望者も多い状況なので、ぜひ、市営住宅を増設するよう強く求めました。



化されると説明しているが、全体では化学消防車やはしご車など5台の消防車両が削減をされることになり、数ヶ所で災害が発生したら対応できなくなる。今回の大震災を見ても明らかではないか」と問題点を報告。

「説明会も1時間ほどで住民に説明したとは言えない」と、広域化に向けての市の対応を批判しました。参加者からは、「消防については全体の車両が減るといふ説明はなかった住民の命が守れなくなるのでは」、また、「説明会の関係では行政センターの説明会も開催されているが、有料化にするのはたいへん困る」など多くの意見が出されました。